

LIVE SMBC日興IRフォーラム2019

レポート REPORT

4544

みらかホールディングス



みらかホールディングス
取締役 執行役員 CFO
北村 直樹 氏

臨床検査を軸に、人々の健康に貢献する企業

会社概要

- **「臨床検査」サービスを広く提供**
 - ・1950年設立
 - ・100カ国以上の国々へ製品やサービスを提供
 - ・臨床検査(検体検査)では血液や尿から病気を発見、早期の治療や投薬を可能に
 - ・年間に受託する検査数は4億テストに迫る
- **みらかグループの事業**
 - ・受託臨床検査事業
 - ・臨床検査薬事業
 - ・滅菌関連事業
 - ・新規育成事業
- **事業別実績(2018年度実績)**
 - ・売上1,814億円、営業利益146億円
 - ・事業別 ①売上 ②営業利益率
 - 受託臨床検査事業 ①1,111億円 ②4.7%
 - 臨床検査薬事業 ①454億円 ②22.1%
 - 滅菌関連事業 ①190億円 ②5.1%
 - 新規育成事業 ①59億円、営業赤字1億円

事業内容(1/2)

- **受託臨床検査事業**
 - ・受託院内検査では、毎日20万以上の検体を医療機関内の検査室業務より受託
 - ・経験豊富な検査技師の技能に裏打ちされた検査大病院の80%以上と取引実績あり
 - ・染色体検査では全国約70%のシェア
 - ・画像認識とAI技術を導入し、効率化と品質向上を実現
 - ・国内で営業拠点120カ所超、ラボラトリー50カ所超
 - ・日本全国をカバー開業医へのサービス拡充へ向けて、2018年5月にSRL Advanced Lab Azabuを開設
- **臨床検査薬事業**
 - ・感染症、主要臓器のがん検査等が可能である検査機器(ルミノパルス)を販売・設置し、継続的な専用試薬の供給により、安定した高収益を実現
 - ・グローバルに製造・販売拠点、海外売上比率48%
 - ・海外で他社機器に試薬をOEM開発・供給

事業内容(2/2)

- **滅菌関連事業**
 - ・病院の運営支援サービス提供により、病院内のオペレーションの効率化に貢献
- **今後の事業展開**
 - ・先端的医療(がんゲノム・再生医療) 聖路加医学生物学研究所へ出資
 - ・訪問看護事業 2018年10月1日に事業スタート大都市を中心に展開
 - ・ウェルネス/未病 2019年11月、ツルハホールディングスと郵送健診サービスに関する提携を開始
 - ・中国最大規模の平安保険グループと合併 平安保険グループのリソース活用、中国での保険加入者1億6,500万人の健康診断を対象に展開

先行投資、キーワード、業績と配当

- **あきる野プロジェクト**
 - ・東京都あきる野市に圧倒的な技術力と効率性を備えたセントラルラボを建設
 - ・検査能力は最大30万ID/日(一般・特殊検査の合計)
 - ・200億円のソーシャルボンド(発行済み)と50億円のソーシャルローンによる資金調達を予定
- **みらかグループのキーワード**
 - ・「人と医療のまんなかで」検査を通じて人々と医療をつなぎ、医療と皆さまの健康を支える企業
 - ・安定的かつ継続的に収益を生み出すビジネスモデル
 - ・中長期的な成長の実現に向けた積極的な投資と事業基盤の拡大、新規事業の育成
- **業績、株主還元について**
 - ・既存事業の売上は安定的に推移
 - ・2017年度以降、将来成長に向けた先行投資を加速
 - ・連結当期利益 2018年度64億円(実績)、2019年度76億円(計画)
 - ・2019年度の配当は2018年度と同じ130円を予想